

科学技術に関する調査プロジェクト報告書3点を刊行しました

『「科学技術立国」を支えるこれからの研究者育成』

『ソーシャルメディアの動向と課題』

『ポスト2020の科学技術イノベーション政策』

国立国会図書館調査及び立法考査局は、科学技術分野に係る重要な国政課題の中から特定のテーマを選定し、外部の専門家と連携して調査・分析を行う「科学技術に関する調査プロジェクト」を毎年度、実施しています。

この度、令和元（2019）年度のプロジェクトの一環として、次の3つのテーマについて、当館職員による調査や大学研究者等への委託による調査等の結果を取りまとめた報告書を刊行しました。

- 👉 『「科学技術立国」を支えるこれからの研究者育成』
- 👉 『ソーシャルメディアの動向と課題』
- 👉 『ポスト2020の科学技術イノベーション政策』

各報告書とも、テーマ分野の基礎的情報から関連する論点・課題までを幅広く調査し、正確な情報を基に、客観性・中立性に配慮した上で、分かりやすく取りまとめるよう努めました。各テーマにおける課題を理解する一助として、是非ご活用ください。



■ 『「科学技術立国」を支えるこれからの研究者育成』（調査資料 2019-4）

令和元年 9 月に開催したシンポジウムでは、「科学技術立国」の足元が揺らいでいるとの共通認識に立って、天野絵里子氏、榎木英介氏、隠岐さや香氏、林隆之氏から報告いただき、当館の綾部広則客員調査員をファシリテータとするパネルディスカッションを行いました。この報告書では、4 氏の報告とパネルディスカッションの記録に加え、綾部氏による解説を収録しています。

■ 『ソーシャルメディアの動向と課題』（調査資料 2019-5）

ソーシャルメディアの動向とそれをめぐる様々な議論について、表現の自由と規制との関係といった課題に着目しながら、アーキテクチャ（物理的・技術的な構造）やアルゴリズムといったユーザー（利用者）の行動に影響を与える情報技術に関する課題を含めて整理を試みています。

■ 『ポスト 2020 の科学技術イノベーション政策』（調査資料 2019-6）

我が国における研究開発の動向と科学技術イノベーション政策の系譜、海外における政策及び政策立案に当たり科学技術イノベーションの社会的側面を考慮する取組について整理するとともに、イノベーションのプロセスにおいて産学連携や研究開発型中小・スタートアップ企業が果たす役割について考察し、我が国の科学技術イノベーション政策における課題を明らかにしました。

■ 入手方法

国立国会図書館のホームページに PDF ファイルで全文を掲載しています。

URL: <https://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/document/2020/index.html>

国立国会図書館トップ > 国会関連情報 > 『調査資料』 > 2020 年刊行分

* 冊子版の報告書の入手を希望される報道関係者の方は、下記のお問合せ先まで御連絡ください。

■ お問合せ先

国立国会図書館 総務部総務課広報係 電話：03-3506-5103（直通）

（参考）調査及び立法考査局の「立法調査サービス」

国会議員からの依頼に基づき、政治、経済、社会、文化、科学技術等、広範な分野の国政課題について、根拠となるデータの収集や事実関係の調査から、論点整理、分析・評価まで、多岐にわたる調査を行います。また、現在・将来の国政課題について調査した成果を報告書などにまとめ、国会議員に提供しているほか、国立国会図書館ホームページで公開しています。